



つくろう 介護から 新しい日本

地域づくりの中核となる介護・福祉・人・現場

平成26年度 四国ブロックカンントリーミーティング (in 高知)

内部留保(剰余金)が問題視されて以来、社会福祉法人の在るべき姿の議論が重ねられており、高齢者福祉施設等を経営する社会福祉法人は、社会福祉事業及び介護サービスに留まらず、地域の幅広い福祉的ニーズへの支援の取り組みを期待されています。

21世紀の人口急減超高齢社会において、介護は国民生活の最大の課題となります。介護生活への不安は増大し、重度化、認知症、看取り、独居、低所得、難病、障がいなどニーズは複雑・多様化しています。

「介護」にかかわる様々な生活課題に正面から向き合い、どんな利用者でも守り抜く…今こそ社会福祉法人が「拠り所」として役割を果たしていかなければなりません。

12年に渡って現場の声を集積し、課題に向き合ってきた「21世紀委員会・カンントリーミーティング」は、我が国介護・福祉のこれからの担うリーダーが集う発信の舞台です。当事者としての責任をもって時代に応え、介護から新しい日本をつくる原動力を生み出すべく、皆さまのご参集をお願いいたします。

☆全国老施協・21世紀委員会の進める取組み

1. 新たな総合事業はじめ地域支援事業の積極的推進役に
2. 地域の福祉ニーズに応える独自の地域展開を
3. 社会福祉法人力の発揮を推進するため規制緩和を
4. 情報公開の普遍化は急務
5. ガバナンスの強化と発揮を
6. 福祉人材キャラバンとして (魅力ある“ブランド”事業体)

1. 主 催 公益社団法人全国老人福祉施設協議会・四国老人福祉施設協議会
高知県老人福祉施設協議会
2. 企画運営 全国老施協21世紀委員会・四国4県21世紀委員会 等
3. 開催日 平成26年9月29日(月)～30日(火)
4. 会 場 ザ クラウンパレス新阪急高知 (〒780-8561 高知市本町4-2-50)
TEL: 088-873-1111 / FAX: 088-873-1145
5. 参加対象・定員 四国ブロック内高齢者福祉施設に勤務する者 (250名程度)
6. 参加費 ￥12,000 (資料・情報交換会費等 含む)
7. プログラム

《1日目》

12:30	13:00	13:10	13:20	14:30	14:50	17:50	18:30	20:00
受付	開会	趣旨説明	全体会 ①基調報告・②課題提起	移動・休憩	分科会 ③グループディスカッション	休憩	情報交換会	

《2日目》

9:00	10:00	10:20	11:50	12:00
全体会 ④総合ディスカッション (分科会報告:30分 全体討議:30分)			休憩	⑤特別講演
				閉会

8. 内 容

- ① 趣旨説明 : 公益社団法人全国老人福祉施設協議会 21 世紀委員会
② 基調報告・課題提起 : 公益社団法人全国老人福祉施設協議会
③ 分科会 ※分科会は、下記の(1)~(4)のいずれかを選択いただき、グループ分けします。

[分科会テーマ]

(1) 「介護」～介護保険制度、報酬改定の行方を探る

- ・多床室と個室（ケアと報酬）特養の在り方
- ・施設における適切な医療の在り方
- ・社会福祉法人の事業拡大戦略～「準市場」「公定価格（3年固定）」「混合介護」
- ・あるべき今日的ケアプランとアセスメント（問われるケアマネの資質）とは
- ・処遇改善加算等各種加算の在り方
- ・施設での看取り体制づくり
- ・介護保険事業計画（地域包括ケア計画）への参画
- ・特養入所の中重度限定の影響は
- ・切り捨てられるデイ事業の戦線は 等

(2) 「福祉」～地域のために“打つ手を尽くす”！挑戦型社福戦略

- ・低所得者、生活困窮者のための法人戦略
- ・地域展開（社会貢献事業等）の可能性
- ・生活困窮者を救う養護老人ホームの展望
- ・地域包括支援センターとの関わり
- ・補足給付、社福軽減等を考える
- ・5年先、10年先に求められる事業体は
- ・見える化（情報公表）の推進
- ・地域支援事業への挑戦～制度再編
- ・先進的「ケア付き住まい」として…軽費・ケアハウスの未来
- ・生活相談員が担う「福祉的支援」とは
- ・法人、施設の広報戦略、イメージアップ 等

(3) 「人」～我が国介護を持続させる原動力

- ・働きやすい環境（辞めない職場）づくり
- ・イメージアップ戦略・介護のブランド化
- ・介護ロボット等の活用可能性
- ・有資格者の確保にどう挑む
- ・専従規制は地域展開を阻むのか
- ・ボランティアやシルバー人材の活用は
- ・人材マネジメント（人事管理力）醸成
- ・外国人介護人材の活用と期待
- ・キャリアパス構築の課題
- ・いま、介護福祉士のなすべきことは
- ・介護業務の効率化とメリハリを追求できるか 等

(4) 「現場」～科学的介護・高品質介護を目指して

- ・サービス（ケア）と効果の検証
- ・医療と介護の現場的連携を深めるには
- ・認知症ケアに挑む（BPSDを読む）
- ・個別ケアを考える
- ・看取りに臨む現場の心構え
～文化としての「平穏死」を考える
～看取り体制の実際と課題
- ・多職種協働の在り方は
- ・ケアの専門性追求と標準化への挑戦
- ・求められる重度化対応
- ・自立支援を考える
- ・悪循環からの脱却～良循環のPDCA介護
- ・疲れ知らずのいきいき介護現場をつくる 等

- (1)分科会は、申込用紙の選択欄に分科会の番号をご記入ください。
- (2)ご希望の分科会において、ディスカッションしたいテーマ、いま課題としてお考えのテーマに近いものについて、上記の(テーマ)から、分科会申し込みください。事務局にてグループ分け(テーブル分け)をさせていただきます。
- (3)お申込みの状況により、ご希望の分科会に参加出来ない場合があります。その場合は別途ご連絡させていただきますので、予めお含みおきください。
- (4)ご参加いただく分科会については、当日配布資料「カントリーミーティング要覧」にてお知らせいたします。

【 情報交換会 】

1日目のプログラム終了後(18:30～)、全国老施協役員、他県からの参加者の皆さんはじめ多くの方々と情報交換・ネットワークづくりを図る場として情報交換会を設定しています。

費用は参加費に込みとなっておりますので、必ずご参加ください。

【 2日目:全体会 】

④ 総合ディスカッション(分科会報告)

初日の各分科会での議論内容をとりまとめ、それぞれ報告を行います。

続いて、全体討議として、参加者全体からの質疑・応答を行います。

⑤ 特別講演

講師:淑徳大学 総合福祉学部 社会福祉学科 教授 結城 康博 氏

演題:「孤独対策から探る地域貢献の在り方」

9. 事前アンケートの提出

参加者は別添の「事前アンケート」に必要事項をご記入いただき、平成26年9月5日(金)までに、各県老施協事務局へご提出ください。(この事前アンケートは参加者全員必須です。提出いただいた事前アンケートはそのまま印刷製本し、当日参加者に配布して、1日目のグループディスカッションにて使用します。)

10. 参加申込方法

別添【参加・宿泊等のご案内】をご参照のうえ、平成26年9月5日(金)までに直接「名鉄観光サービス株式会社高知支店」あてにお申し込みください。

11. 個人情報の保護について

お申込により知り得た個人情報(氏名、年齢、住所、連絡先等)については、個人情報保護法に基づき、カントリーミーティング運営業務(参加者への連絡、参加券の送付、参加者名簿の作成等)以外には使用しません。

12. 事務局

高知県老人福祉施設協議会 (担当:小田)

〒780-8567 高知県高知市朝倉戊 375-1 高知県立ふくし交流プラザ内

TEL:088-844-4611 / FAX:088-844-9443